

バックカントリーツアー



ゲレンデから少し離れ、本格的に裏磐梯バックカントリーを楽しむ「バックカントリーツアー」。確かな体力と歩行・滑走技術、装備（そして、お互いの信頼関係もね！）が必要となります。極上の雪質と地形、植生が生み出すハーモニーが、あなたの魂を揺さぶることでしょう。

「バックカントリーツアー」のご案内

(1) バックカントリーツアーは、以下の4つのプログラムで構成されています。

- ・ バックカントリー-Level1
- ・ バックカントリー-Level2
- ・ バックカントリー-Level3
- ・ バックカントリー-Level4

(2) 各プログラムとも基本的にスノーボーダー向けですが、**スキーマーもご参加いただけます**。ただし、「サイドカントリー1日コース」以上のレベルのツアーについては、**装備表**をご覧くださいの上でスキーの装備をご自身で判断できる方に限らせていただきます。

(3) 最少催行人数は Level1~Level3 日程(1)が2名、Level3 日程(2)と Level4 が3名です。また、定員は以下のとおりです。

バックカントリー-Level1~2：定員7名 バックカントリー-Level3~4：定員5名

(4) 特別な記載がない限り、料金にはガイド代および傷害保険代が含まれます。現地での精算となりますので、できるだけ**釣銭がいないよう**にご用意ください。

(5) コースによってはリフト代や駐車場代等が別途必要になる場合がございます。

(6) **1day ツアーに連日でご参加いただいた場合**、連日参加特典として料金から**1日あたり1,000円引**^{※1}となります。^{※1} 特別価格のツアーについては適用されません。また、他の割引との併用はできません。

(7) **ヘルメット、ボードを装着できるザック**^{※2}、**スノーシュー**^{※3}、**伸縮式ストック**、**雪崩ビーコン**は**必携**です。レンタル（有料）をご希望の方は参加申し込みと同時に**お申し込みください**。

※2 スプリットボードの場合はボードを装着できなくても可。ただし、スキーが装着できることが望ましい。

※3 スプリットボードの場合は不要。

- (8) **持ち物については、装備表（6 ページ）で必ずご確認ください。** 必須装備（◎がついたもの）は個人が携帯する装備ですので、夫婦・カップル・友人同士で共同で持つということがないようにお願いいたします。
安全管理上、装備が不足している場合は参加をお断りする場合がございますのでご注意ください。
※4 ※4 その場合、当日キャンセルとしてキャンセル料を頂戴いたします。
- (9) **ゾンデ（プローブ）、スコップ（ショベル）**をお持ちの方は必ずご持参ください。バックカントリーLevel2 以上では必須装備となります。
- (10) 天気にもよりますが、1 日コースの昼食時間はゆっくり取りますので簡単な調理をしても結構です。ただし、調理せずに食べられるものも必ずご用意ください。
- (11) 電車・バス等、**公共交通機関をご利用の方**については、集合時間の1 時間前に「もくもく自然塾ガイドセンター」にお越しいただければ集合場所まで無料送迎いたしますので、参加申し込みの際にお申し出ください。
- (12) 各宿泊施設からスキー場までの移動は、スキー場のシャトルバスも利用可能です。シャトルバスの時刻や発着所につきましては、スキー場または宿泊施設にお問い合わせください。
- (13) 自家用車でお越しの方は、必ずスタッドレスタイヤやチェーンの装着をお願いいたします。
- (14) **ルートは**、基本的に開催日前1 週間以内に担当ガイドが下見をし、当日までの天候、積雪等の気象条件から**当日決定**します。
- (15) **GPS およびその機能を有する機器によるログ録り行為は一切お断り**いたします。
ただし、2 万5 千分の1 地形図とコンパスの持ち込みは歓迎いたします。
- (16) 流し撮り等、**ツアールートが特定できるような動画撮影は一切お断り**いたします。
- (17) **開催日以外の開催をご希望の方はご相談**ください。（平日のみ。2 名から。）



バックカントリーLevel1

裏磐梯バックカントリーライダーは、オープンバーンよりもむしろタイトなツリーランにエクスタシーを感じます。ここで裏磐梯バックカントリーにハマるといふ方も多い定番ルートがついに登場。ハイク時間は2~3時間程度（雪が深い場合は5時間以上！）のルートです。

[対象] 下記の条件を満たす方。

- (1) 「サイドカントリー1日コース」で1ルート以上経験している。
- (2) 担当ガイドから合格判定を受けた。

ただし、開催日(1)は昨シーズンLevel1にご参加いただいた方限定、開催日(5)は昨シーズンまでにLevel1にご参加いただいた方限定。

- [開催日]**
- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) 2017年12月24日(日) | (2) 2017年12月31日(日) |
| (3) 2018年1月1日(月・祝) | (4) 2018年1月13日(土) |
| (5) 2018年2月11日(日) | (6) 2018年4月8日(日) |
| (7) 平日毎日対応 (2名から) | |

※担当ガイドのスケジュールによっては対応できない場合もございます。

- [ルート]**
- (1)(2)(3)(4)(6) 吾妻西エリア（滑走技術★★★ 登行技術★★）
 - (5) シークレットエリア（滑走技術★★★ 登行技術★★★）
 - (7) 開催時期によって利用できるルートが異なります。

[体力度] ★★★☆ (5時間程度の山歩きを余裕を持ってできる体力が必要です。)

- [集合]**
- (1)(2)(3)(4)(6) **9:15 グランデコスノーリゾート東ウイング内**
 - (5) **9:15** 集合場所はお申し込みいただいた方に直接ご案内いたします。
 - (7) 集合時間・場所はルートによる。

※施設へのプログラムに関するお問い合わせはご遠慮ください。

- [参加費]**
- (1) **5,000円** (税込) /名 ※滑り初め特別価格
 - (2)~(7) **8,500円** (税込) /名

特別バックプランのご案内

プログラム参加当日はもちろん、前日や翌日にも使えるリフト券付きのお得なプランのご案内です。(※プログラム参加前日にご利用いただく場合は、もくもく自然塾ガイドセンターにて事前にご精算ください。)

- ・マックアースグループ1日券付きプラン
 - (1) **8,000円** (税込) /名
 - (2)~(7) **11,500円** (税込) /名
 ※猪苗代・沼尻・箕輪・裏磐梯スキー場のいずれかにご利用いただけます。
- ・グランデコスノーリゾート1日券付きプラン **12,300円** (税込) /名

※別途、マスター料金設定、特別期間（3/26～5/6）料金設定あり。詳しくはお問い合わせください。

- [行程]** 9:10～ 受付 ※出発できる準備をしてご集合ください。
9:30 ブリーフィング（行程の説明、装備チェック、準備運動、リフト券の購入など）
9:45 ツアースタート（ハイクアップ&ライディング）
15:30 終了

※参加人数によって時間が前後する場合がございます。

バックカントリーLevel2

バックカントリーLevel1を大盛りにしたような、高低差または距離のあるロングルートへのご案内いたします。これでもかというくらい続くツリーランで、あなたの心と大腿四頭筋が震えること間違いなし！ハイク時間は3～4時間程度、ルートによっては登りの難易度も上がります。

[対象] 下記の条件を満たす方。

- (1) 「バックカントリーLevel1」で2ルート以上経験している。
- (2) 「雪山登山基礎講習」（または、以前の「冬山リスクマネジメント講習」）を受講している。
- (3) 今シーズン中に1回以上「バックカントリーLevel1」に参加している。
- (4) 担当ガイドから合格判定を受けた。

[開催日] (1) 2018年1月14日（日） (2) 2018年2月24日（土）
(3) 2018年3月31日（土）

[ルート] (1) 吾妻西エリア（滑走技術★★★ 登行技術★★）
(2) 磐梯エリア（滑走技術★★★ 登行技術★★★★）
(3) シークレットエリア（滑走技術★★★ 登行技術★★★）

[体力度] ★★★★★☆（7時間程度の山歩きを余裕を持ってできる体力が必要です。）

[集合] (1) 8:30 グランデコスノーリゾート東ウイング内
(2) 8:30 集合場所はお申し込みいただいた方に直接ご案内いたします。
(3) 8:00 集合場所はお申し込みいただいた方に直接ご案内いたします。

※施設へのプログラムに関するお問い合わせはご遠慮ください。

[参加費] 10,000円（税込）/名

特別バックプランのご案内

プログラム参加当日はもちろん、前日や翌日にも使えるリフト券付きのお得なプランのご案内です。（※プログラム参加前日にご利用いただく場合は、もくもく自然塾ガイドセン

ターにて事前にご精算ください。)

- ・ マックアースグループ 1日券付きプラン **13,000 円** (税込) /名
※猪苗代・沼尻・箕輪・裏磐梯スキー場のいずれかでご利用いただけます。
- ・ グランデコスノーリゾート 1日券付きプラン **13,800 円** (税込) /名
※別途、マスター料金設定、特別期間 (3/26~5/6) 料金設定あり。詳しくはお問い合わせください。

[行 程] ルートによって異なります。

- [備 考]**
- ・ レンタル装備がある方、装備に問題がある方、装備の使い方があやしい方は Level2 の合格判定は出しませんのでご注意ください。
 - ・ ヘッドライトをご持参ください。

バックカントリーLevel3

ハイク時間は5~6時間程度。ルートによってはアイゼンが必要となるLevel3。体力はもちろん、登り下りとも確かな技術が必要となります。無事下山できたとき、それまでの裏磐梯バックカントリーでは味わったことのない達成感と充実感があなたの心を満たすことでしょう。

[対 象] 下記の条件を満たす方。

- (1) 「バックカントリーLevel2」で2ルート以上経験している。
- (2) 今シーズン中に1回以上「バックカントリーLevel2」に参加している。
- (3) 担当ガイドから合格判定を受けた。

[開催日] (1) **2018年2月25日(日)** (2) **2018年4月1日(日)**

[ル ー ト] (1) 磐梯エリア (滑走技術★★★★~★★★★ 登行技術★★★★)
(2) 南会津エリア (滑走技術★★★ 登行技術★★★★)

[体力度] ★★★★★☆ (9時間程度の山歩きを余裕を持ってできる体力が必要です。)

[集 合] (1)(2) 集合時間・場所はお申し込みいただいた方に直接ご案内いたします。

[参加費] (1) **12,000 円** (税込) /名 (2) **13,000 円** (税込) /名

[行 程] ルートによって異なります。

- [備 考]**
- ・ 料金に保険代は含まれません。山岳保険に加入していない方は別途保険代が必要となります。保険代はアイゼンを使用するルートかどうかで異なります。
 - ・ アイゼンを使用するルートの場合は前爪がある8本爪以上のアイゼンをご用意ください。
 - ・ ヘッドライトをご持参ください。
 - ・ 日程(2)のみ、最少催行人数は3名です。

バックカントリーLevel4

裏磐梯から少し足を延ばし、ハイク時間 7~8 時間程度のビッグマウンテンにチャレンジします。登るだけで1日がかかり。登れども登れども辿り着かない圧倒的スケール感で、これまでのあなたの常識は覆されることでしょう。あなたの心が折れないことを祈ります。(笑)

[対 象] 下記の条件を満たす方。

- (1) 「バックカントリーLevel3」でアイゼンが必要なルートを経験している。
- (2) 今シーズン中に1回以上「バックカントリーLevel3」に参加している。
- (3) 担当ガイドから合格判定を受けた。

[開催日] 2018年5月(参加条件を満たし、希望する方がいらっしゃれば日程を調整します。)

[ルート] シークレットエリア(滑走技術★★★★ 登行技術★★★★)

[体力度] ★★★★★☆(11時間程度の山歩きを余裕を持ってできる体力が必要です。)

[集 合] 集合時間・場所はお申し込みいただいた方に直接ご案内いたします。

[参加費] 16,000円(税込)/名

[行 程] 4:45~ 受付 ※出発できる準備をしてご集合ください。
5:00 ブリーフィング(行程の説明、装備チェック、準備運動など)
5:15 ツアースタート(ハイクアップ&ライディング)
16:30 終了

※参加人数によって時間が前後する場合がございます。

[備 考]

- ・料金に保険代は含まれません。アイゼンを使用できる山岳保険に加入していない方は別途保険代が必要となります。
- ・アイゼンを使用するルートの場合は前爪がある8本爪以上のアイゼンをご用意ください。
- ・ヘッドライトをご持参ください。
- ・行程が長くなるため、十分な量の行動食および飲料をご用意ください。
- ・最少催行人数は3名です。

バックカントリーツアー装備表

◎：必須 (◎)：ツアーによって、または対象者は必須 ○：あると安全・快適に過ごすための装備 △：あると便利

装備	チェック	備考
スノーボード	◎	使い慣れたもの。事前にネジの緩み等の入念なチェックを。スプリットボードの場合はシールも忘れずに。
スノーボードブーツ	◎	履き慣れたもの。
スノーシュー	◎	ハイクアップ時に使用。スノーボードブーツで装着可能なもの。 レンタル可能 (1,800 円/日)
伸縮式ストック	◎	ハイクアップ時や緩斜面で使用。 レンタル可能 (500 円/日)
ヘルメット	◎	頭部保護のため。 レンタル可能 (500 円/日)
ザック (20~30ℓ程度) ※	◎	スノーボードを装着でき、携行する装備が入る大きさのもの。 レンタル可能 (500 円/日)
アウター (上下)	◎	防水性、透湿性の高い素材のもの。
中間着	◎	フリースなど、軽量で保温性の高い素材のもの。
予備の防寒着	◎	薄手のダウンなど、軽量で保温性の高い素材のもの。
アンダーウェア (上下)	◎	保温性、速乾性の高い素材のもの。綿製品はNG。
グローブ	◎	保温性の高いもの。ライディング用の厚手のものとハイクアップ用の薄手のものを使い分けると便利。予備があってもよい。
ゴーグル	◎	ライディング時に使用。天候により視界確保への影響が少ないレンズのもの。予備があってもよい。
帽子	◎	耳たぶまでしっかり覆うタイプのもの。
靴下	◎	保温性の高い素材のもの。綿製品はNG。
サングラス	◎	雪目防止に。ハイクアップ時に使用。
ネックウォーマー	○	悪天候時に重宝。バラクラバ(目出し帽)なら尚よし。
雪崩ビーコン	◎	雪崩埋没時のレスキューに必要。 レンタル可能 (1,000 円/日)
ゾンデ (プローブ)	(◎)	雪崩埋没時のレスキューに必要。「バックカントリーLevel2」以上では必須。
携帯シャベル	(◎)	雪崩埋没時のレスキューに必要。「バックカントリーLevel2」以上では必須。
行動食	◎	チョコレートなど、歩きながらやちよとした休憩で食べられるもの。多めに用意すれば万一の場合の非常食にもなる。
食事	◎	ごはんものは凍るので冬山には不向き。
テルモスまたは水筒	◎	行動中の水分補給に。暖かい飲み物があるとより快適。
ゴミ袋	◎	持ち込んだものはすべて持ち帰る。
調理道具	△	バーナー、コッヘル、燃料、食材、調味料等。山での食事は一手間かけるのもまた楽しい。
カイロ	○	食事中や緊急時の防寒対策として。
携帯座布団	○	お尻を冷やさないように。これ1枚で食事が快適に。
医薬品	○	各自で必要なものを用意。
ヘッドライト	(◎)	夜間の行動や、万一の場合の備え。予備電池も忘れずに。「バックカントリーLevel2」以上では必須。
アイゼン	(◎)	「バックカントリーLevel3」「バックカントリーLevel4」ではコースによっては必須。8本爪以上で、前爪があるもの。必ず事前に着脱の練習をしておくこと。
ロールペーパー	○	トイレ時や食器を拭く場合に使用。小屋泊ツアーでは必須。
携帯灰皿	(◎)	喫煙者は必須。灰もすべて持ち帰ること。

<ご注意ください! >

- (1) 装備表の内容はあくまでガイドツアーの装備であり、個人で行く場合の装備としては不足しています。
- (2) スキーで参加される方は、装備表のスノーボードに関する部分を自分のスタイル(山スキー+シール、テレマークスキー+シール、アルペンスキー+スノーシューなど)に合わせて置き換えてください。

バックカントリーツアーの参加条件

プログラム	基本参加条件（ツアールートによっては条件が追加される場合あり）
バックカントリー Level1	以下の条件を満たす方。 (1) 「サイドカントリー1日コース」で1ルート以上経験している。 (2) 担当ガイドから合格判定を受けた。
バックカントリー Level2	以下の条件を満たす方。 (1) 「バックカントリーLevel1」で2ルート以上経験している。 (2) 「雪山登山基礎講習」を受講している。 (3) 今シーズン中に1回以上「バックカントリーLevel1」に参加している。 (4) 担当ガイドから合格判定を受けた。
バックカントリー Level3	以下の条件を満たす方。 (1) 「バックカントリーLevel2」で2ルート以上経験している。 (2) 今シーズン中に1回以上「バックカントリーLevel2」に参加している。 (3) 担当ガイドから合格判定を受けた。
バックカントリー Level4	以下の条件を満たす方。 (1) 「バックカントリーLevel3」でアイゼンが必要なルートを経験している。 (2) 今シーズン中に1回以上「バックカントリーLevel3」に参加している。 (3) 担当ガイドから合格判定を受けた。

<ご注意ください！>

- (1) 裏磐梯エリアは少々難易度が高く、他エリアで経験があっても苦労される方がいらっしゃいます。
 当塾のツアーに初めて参加される方は、まずは「サイドカントリー半日体験コース」からご参加いただくことをお勧めいたします。
- (2) 「バックカントリーツアー」にご参加いただいている方が、シーズン途中またシーズンを跨いで道具を変更する場合（スノーシューからスプリットボード、スノーボードからスキーなど）は、以前の合格判定は無効となります。再度「サイドカントリー1日コース」にご参加いただき、その道具で合格判定を受けてください。
- (3) 飛び級制度はありません。



お申し込み方法

1. まず、このプログラム詳細の内容をよくご確認ください。
グループでお申し込みの場合は、代表者も含め参加者全員が必ずご確認ください。
2. 次に、参加希望日の7日前までにお電話（0241-23-9018）にてお申し込みください。
3. 最後に、下記のいずれかの方法で申込用紙および同意書入手し、必要事項を記入後、FAX（024-505-4826）、Eメール添付、郵便の何れかの方法でお送りください。
 - (a) ホームページから参加申込書および参加同意書をダウンロードする。
 - (b) 参加申込書および参加同意書を自宅に郵送してもらう。

※お電話にて申し込みいただく前に申込書や同意書だけをお送りいただいた場合は申し込みを受理できませんのでご注意ください。

※開催が決定していれば7日前を過ぎてのお申し込みもお受けできる場合がございますのでご相談ください。

キャンセルについて

お申し込みを取り消す場合は必ずお電話にてご連絡ください。

天災、事故（事故証明書をご提出いただきます。）、事件などを除く理由によりプログラムの参加を中止する場合には、下記のキャンセル料を頂戴いたします。

プログラム開始日の7日前から2日前まで	料金の 30%
プログラム開始日の前日および当日	料金の 50%
連絡なしの当日キャンセル	料金の 100%

当日遅刻等により参加できなかった場合や、病気やケガによりお申し込みを取り消す場合も上記キャンセル料の対象となりますので、集合場所・時間の事前確認および健康管理にご留意ください。

担当ガイド

渡邊 亮（わたなべ りょう）

「ならぬことはならぬものです」を地で行く、会津が生んだサムライガイド。登山だけでなく、バックカントリー、キャニオニング、カヌーなどのガイドも務めるマルチプレイヤー。NHK「おいで、東北」男子としても注目を集める。

1974年福島県会津坂下町生まれ。裏磐梯在住。東北山岳ガイド協会所属。ガイド歴14年。

日本山岳ガイド協会認定登山/スキーガイド、日本スノーボード協会認定インストラクター、日本カヌー連盟公認指導員、レスキュー3TRR-T/SRT-I、野外災害救急法40時間修了ほか。



参加者限定メーリングリストのご案内

ツアー最新情報やツアー写真の入手、参加者同士の交流にご利用いただけるメーリングリスト(以下、ML)をご用意しております。

当塾のバックカントリースノーボードプログラムに一度でも参加した方ならどなたでもご登録いただけます。(※身元不明の方の不正登録を防止するため、このような登録条件を設けさせていただいております。)

ML登録を希望する方は、ツアーに参加した際に担当ガイドにメールアドレスをお知らせください。過去にツアーに参加した方で未登録の方は、もくもく自然塾のWebサイト内ページ一番下「お問い合わせ」よりご連絡ください。過去の参加者データと照合し、確認でき次第MLに登録させていただきます。

FAQ (よくある質問)

Q1. 平日に1名でツアーを開催してもらえますか？

A. 1名で臨時開催をご希望の場合、日程がはっきりすれば「参加者限定メーリングリスト」で一旦募集をかけさせていただきます。そこでもう1名いらっしゃれば催行が決定しますので、まずはご希望をお知らせください。それでも最少催行人数に満たない場合は、2名分の料金で催行が可能です。

Q2. 自分は経験がありますが、友人が経験がありません。サイドカントリー1日コースと一緒に参加しても大丈夫ですか？

A. 山では滑走技術はもちろん、体力も必要となります。過去に「体力には自信があります」という方が疲労困憊している姿を何度も目にしています。また、滑走技術についてもゲレンデで自信を持っていらっしゃる方が多いのですが、山ではまったく思うように滑走できないという姿を何度も目にしています。

ツアーは団体行動であり、ひとりでもスムーズに行動できない方がいらっしゃればツアー全体の行動に支障が出るという点も考慮して参加するツアーをご選択いただければ幸いです。

Q3. 自信(経験)があるのでバックカントリーLevel〇から参加させてもらえますか？

A. 自信がある方はご自身で山に行ってください。どういうルートかもわからないのに自信があると言える根拠がまったく理解できません。そういった方は「リスクを想像できない」という意味で事故につながる可能性が高く、安全管理上、参加をお断りさせていただきます。

Q4. なぜGPS機器でログを録る行為が禁止されているのですか？

A. 企業にとって公表を欲しない経済的価値を持つ情報、いわゆる「企業秘密」があるように、ガイドにとって時間をかけて下見を重ね設定したツアーコースは言わば企業秘密です。ログを録る行為は、レストランの厨房に勝手に入ってレシピを持ち帰るのと変わらない行為だと思いますがいかがでしょうか。

GPSや地図アプリ、ログサービス等、技術は日々進歩していますが、それに使い手である人間のモラルが追い付いていないのが現状です。そもそも、登山者の必須能力である読図力があれば、ログを録る必要はないはずです。そこには、「読図能力のない登山者(遭難予備軍)を増やしたくない」という思いもありますのでご理解いただければ幸いです。

お申し込み・お問い合わせ先

裏磐梯 もくもく自然塾

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字小野川原 1092-38

TEL : **0241-23-9018** (9:00~20:00) FAX : **024-505-4826** (24 時間)

E-mail : **info@moku2-outdoor.com** URL : **http://moku2-outdoor.com/**

2017. 11. 26 「バックカントリーツアー」初版。

※このプログラムの詳細は、予告なく内容が変更される場合がございます。